

第 1 回 館 山 市 議 会 臨 時 会 會 議 録

( 第 1 号 )



1 平成4年4月20日(月曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 26名

1 番 秋山 光章	2 番 増田 基彦
3 番 島田 保	4 番 斉藤 実
5 番 宮沢 治海	6 番 植木 馨
7 番 鈴木 順子	8 番 永井 龍平
9 番 脇田 安保	11 番 山崎 雅己
12 番 岩村 勝弘	13 番 榎本 春光
14 番 小宮 利夫	15 番 山中金治郎
16 番 鈴木 勝美	17 番 鈴木 忠夫
18 番 日下 君敏	19 番 川名 正二
20 番 生稻 隆	21 番 神田 守隆
22 番 福原 勤	23 番 石井 昌治
25 番 流山源次郎	26 番 辻田 実
27 番 横溝 功	28 番 飯田 義男

1 欠席議員 1名

10 番 庄司二三男

1 出席説明員

市長 庄司 厚	助 役 小幡 清之
収入役 川上 義雄	市長公室長 永野 修
総務部長 斉藤 賢司	建設部長 伊東 衛

1 出席事務局職員

事務局長 兵藤 恭一	事務局長補佐 土橋 康彦
書記 鈴木 哲	書記 鈴木 修一
書記 松浮 郁夏	

1 議事日程

平成4年4月20日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

- 日程第3 { 議案第48号 館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処  
分の承認について  
議案第49号 平成4年度館山市一般会計補正予算(第1号)  
議案第50号 平成4年度館山市下水道事業特別会計補正予算  
(第1号)

日程第4 副議長の選挙

開 会 午前10時20分

◎議長(福原 勤君) 本日の出席議員数26名、これより平成4年第1回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

追悼の言葉

◎議長(福原 勤君) この際、御報告申し上げます。

本市議会副議長石井輝久君には、去る3月26日午後零時43分急逝されました。ここに謹んで哀悼の誠を捧げ、御報告を申し上げます。

このことについて、神田守隆君から発言を求められておりますので、暫時これを許します。

(21番議員神田守隆君登壇)

◎21番(神田守隆君) ただいま議長から報告のありましたとおり、副議長石井輝久さんには3月26日急逝されました。

ここに、皆様方の御同意をいただき、議員一同を代表いたしまして、謹んで哀悼の言葉を捧げます。

あなたは、大正13年館山市に生まれ、安房中学校から盛岡高等農林学校卒業後、陸軍予備士官学校に学ばれ、戦後は読売新聞の記者として県政を担当、この後、県紙の千葉新聞論説委員を務められ、生来の明敏闊達の資をもって、志を常に社会公共に置き、昭和42年、衆望を担って館山市議会議員選挙に立候補、見事当選の栄に浴されました。自来4期12年余りの長きにわたり、市政の枢機に参画し、市政の推進に邁進せられ、地方自治の伸展に大きな足跡

を残されました。

この間、総務委員会委員長、建設委員会委員長、館山市議会副議長等の要職につかれ、議会人としての職責に徹してられました。

あなたは、常に向上心に燃えておられ、広範にわたる知識と深い洞察力は、万人の認めるところでありました。また、議会における鋭い質問は、常に問題の核心をとらえ、議員としてのお手本であり、終生忘れることができません。

本定例議会総務委員会開会中、突如として体の不調を訴えられ、急遽入院、百万加療もその効なく、任期半ばにして忽然として不帰の客となられ、ここに追悼の言葉を申し述べようとは夢想だにしなかったことで、この世のならないとはいえ、まことに痛恨のきわみであり、残念でなりません。

また、御遺族の方々の悲しみはいかばかりかと察するにあまりあるものがございます。

地方行政はますます多難な時代を迎え、本市におきましても重要な課題が山積し、あなたの豊かな経験と卓越した識見にまつべきものがあるとき、あなたを失いましたことは本市といたしましても大きな損失であり、込み上げる哀惜の情を禁じ得ません。

しかしながら、あなたの身命を賭して議会活動に専念された情熱は、長く本市議会の中に生き続けることを信じて疑いません。

常日ごろ、元気に登庁された姿も今はなく、あなたの議席である24番は空席となってしまったのであります。

今、ここにあなたの議席に花束を捧げ、その御功績をたたえ、温容をしのび、心から御冥福をお祈りいたしまして、追悼の言葉といたします。

◎議長（福原 勤君） 次に、市長から発言を求められておりますので、暫時これを許します。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 執行部を代表いたしまして、故石井輝久市議会副議長の御逝去を悼み、謹んで哀悼の言葉を申し述べます。

石井さんと私は、旧制安房中時代より今日まで、50年間余りの長いおつき

合いでした。昭和14年ごろ、同志を募り蹴球部を創設し、お互いに広いグラウンドを毎日走り回り、汗を流したことが今では走馬灯のように思い出されます。そして、石井さんは旧制盛岡高等農林、陸軍予備士官学校へと進まれ、戦後は読売新聞記者として県政を担当され、また千葉新聞の論説委員として健筆を振るわれました。

その後、限りない郷土愛に燃えられた石井さんは館山に帰られ、政治の道を志し、昭和42年に館山市議会議員に当選されました。以来、4期当選をなし遂げ、市政の推進に参画されましたが、この間、総務委員会委員長、建設委員会委員長、予算審査特別委員会副委員長などの要職を歴任されるなど、議会人として市民福祉の向上に多大の貢献をされました。そして、平成3年6月には館山市議会副議長に就任され、館山市の目指す活力ある文化、福祉都市の建設に努力されてこられました。

また、石井さんは平和で美しく生きがいのある社会づくりを願っておられました。そして、明るい社会づくり南総地区委員会の事務局長を務められ、次代を担う青少年の健全育成に情熱を持っておられました。この青少年への深い愛情が新入学児童に黄色い帽子を贈り、交通事故から子供たちを守る運動として永年続けられているわけでございます。

このように地域社会や住民福祉に尽くされました御功績は、これからも脈々として生き続けるものと確信をするものでございます。おかげをもちまして、館山市は永年の念願でありました、道路と水の問題が着実に解決の方向に進んでおり、21世紀に向け新しいまちづくりが始まっているわけであります。このような時代の転機に石井さんには一層の御活躍を期待してございましただけに、このたびの御逝去はまことに惜しまれてなりません。

これから私たちは石井さんの御遺志を継承し、館山市の発展のため全力を尽くして邁進してまいります。

ここに、石井さんのこれまでの幅広い御活躍並びに御功績に対しまして、市民の皆様とともに厚くお礼を申し上げます。同時に、石井さんの御冥福と御遺族の皆様方の御多幸を心からお祈り申し上げます。追悼の言葉といたします。

## 黙 禱

◎議長（福原 勤君） この際、故石井輝久君の霊に謹んで黙禱を捧げ、御冥福をお祈りいたしたいと思います。

御起立願います。黙禱始め。

（起立、黙禱）

◎議長（福原 勤君） 黙禱を終わります。

御着席願います。

## 議長の報告

◎議長（福原 勤君） 本臨時会議案審議のため、地方自治法第 121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

## 議案の配付

◎議長（福原 勤君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

## 会議録署名議員の指名

◎議長（福原 勤君） 日程第 1、会議録署名議員の指名を行います。

6 番議員植木 馨君、23 番議員石井昌治君、以上両君を指名いたします。

## 会期の決定

◎議長（福原 勤君） 日程第 2、会期の決定を行います。

本臨時会の会期につき議会運営委員会の意見は本日 1 日ということであり  
ます。

お諮りいたします。会期を本日1日と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定いたしました。

### 議案の上程

◎議長(福原 勤君) 日程第3、議案第48号乃至議案第50号の各議案を一括して議題といたします。

### 提案理由の説明

◎議長(福原 勤君) これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。  
庄司市長。

(市長庄司 厚君登壇)

◎市長(庄司 厚君) 本日ここに急遽第1回市議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、御多用の折、御出席を賜りまことにありがとうございます。

今回、急施を要するものとして御審議をお願いする案件は、条例議案1件、補正予算2件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第48号館山市市税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認についてでございますが、地方税法の一部を改正する法律案が去る3月27日国会において可決され、同31日公布、4月1日から施行されることとなりました結果、館山市市税条例も改正する必要性が生じたため、同条例の一部を改正する条例を地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、議会に報告し、その承認を求めようとするものでございます。

今回の主な改正点は、個人の市民税について、低所得者層の税負担に配慮するため、所得割及び均等割の非課税限度額の引き上げを行ったものでございます。詳細につきましては説明資料により御了承賜りたいと存じます。

次に、議案第49号平成4年度館山市一般会計補正予算(第1号)でござい



ますが、歳入歳出予算の補正といたしまして歳入歳出それぞれ 4,449万 3,000円を追加し、総額 144億 6,649万 3,000円としようとするものでございます。

歳出の内容といたしましては、土木費で下水道事業特別会計への繰出金 4,449万 3,000円を追加し、この財源といたしまして、前年度繰越金をもって充当しようとするものでございます。これは公共下水道終末処理場用地取得事業の一部が国庫補助対象事業として採択されたことに伴いまして、用地の先行取得を委託した千葉県地方土地開発公社から、国庫補助対象相当分を買い戻すことになりましたので、この経費のうち下水道事業特別会計におきまず一般財源相当額を一般会計から繰り出そうとするものでございます。

次に、議案第50号平成4年度館山市下水道事業特別会計補正予算（第1号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして歳入歳出それぞれ1億 3,849万 3,000円を追加し、総額2億 385万 2,000円としようとするものでございます。

歳出の内容といたしましては、管理費では庁用器具の購入費で15万円、建設費では公共下水道終末処理場用地購入費で1億 3,834万 3,000円をそれぞれ追加し、これらの財源といたしまして国庫補助金、一般会計繰入金及び市債をもって充当しようとするものでございます。これは議案第49号と同様、国庫補助対象事業として採択されました用地の一部取得の経費を追加補正しようとするものでございます。このほかに、下水道事業につきまして地方債の補正をお願いするものでございます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、よろしく御審議のほどお願いいたします。

以上でございます。

◎議長（福原 勤君） 以上で提案理由の説明を終わります。

#### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） これより各議案の審議を行います。

まず、議案第41号館山市市税条例一部を改正する条例の専決処分の承認に

ついて質疑を行います。御質疑願います。

御質疑ありませんか。 — 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お落りいたします。

本案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長（福原 勤君） これより討論を行います。

討論はありませんか。 — 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長（福原 勤君） これより採決いたします。

本案を承認することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（福原 勤君） 御異議なしと認めます。よって、本案は承認することに決しました。

#### 質 疑 応 答

◎議長（福原 勤君） 次いで、議案第49号及び議案第50号について一括して質疑を行います。御質疑願います。

神田守隆君。

◎21番（神田守隆君） この用地買収の関係についてお尋ねいたすわけで

すけれども、775.68平米を買収、いわゆる買い戻しをしようということで、全体という面積は約4万平米、この下水道の用地としてはあるわけで、これから買収を進めるというのは、一応は千葉県土地開発公社から、買収が済んでいますから、それから買い戻しということになるかと思うんですが、結局は国庫補助金のつき方がどういうふうになっていくのか、そこらの見通しがどうなのかということが、これからの下水道事業の死命を制する重大な問題じゃないかな。国の方では公共事業は前倒しでどんどんやれだとか、いろいろな動きもあるようでありますけれども、こうした中で館山市の公共下水道事業の見通し、買収の見通しについては、市としてはどう考えておられるのか。これはなかなかこれだけの面積全体ということでありますから、早くつくものなのかどうなのか、その辺の見通しについてお聞かせをいただきたい。

それと、この1億3,800万というような予算で、用地購入費が1億3,834万3,000円ですということで、一般会計からの負担も4,449万3,000円ということで、わずか770平米あたりへ一般会計からの負担もかなりのものということになるかと思うんで、こうした点から今後の財政負担の見通し、用地買収についてのその辺をどういうふうに見ておられるかということです。

3つ目としては、それとの関連もあるわけですが、具体的に用地の取得の見込みということと関連するわけですが、いわゆる下水道の工事そのもの、こういったものはどういう時期から行われるというふうに考えていいのか、その3点についてお聞かせいただきたいと思います。

◎議長（福原 勤君） 建設部長。

◎建設部長（伊東 衛君） お答えいたします。

まず、この平成4年度から4年間について、まず簡単に御説明申し上げます。平成4年度は775.68平米、これが今議会に出ているわけでございますけれども、それから平成5年度、6年度、7年ということで4億の配分でございますけれども、予定とすれば約712平米弱。6年度は706平米、7年度が700平米を予定しておるわけでございますけれども、実は過ぎた4月の13日、県から通知がありまして、平成5年度から4年間、8年度まででございます

けれども、これについて20億の用地国債の事業費が認められております。そのほか、小さい話では平成4年度で2,600万の終末処理場用地の中の地質調査費もこの補助対象ということで通知を受けております。そういたしますと、大体用地の関係が24億認められておるわけでございますけれども、24億といえますとこの富士ディーゼルの土地と、富士電機の土地が12月に一応議会で認めていただいたわけでございますけれども、これについては一応補助金の対象になったということでございます。

さらに、大きな方の日本新都市株式会社から譲り受けました2万4,344.69平米、これについてはまだ先がないわけでございますけれども、これについても一日も早く、一年も早くひとつ補助金の対象の運動を繰り広げていかなきゃいけないわけでございますけれども、これについてもひとつ議会の方の御支援をいただきながら一日も早く用地の買収をしていきたいと思っております。

それから、第2点目の4,400万でございますけれども、非常に金額的に、率的に多いという感じがするんですけれども、これについては実は12月の25日からの、それから3月26日までの利子あるいは手数料も入っておりますけれども、これは補助金の対象になっておりません。そんな関係から、非常に大きな負担を迫られるわけでございますけれども、今後はこういったものが少しでも補助金の対象を受けることによって、この補助以外のものを少なくしていこうということでございますけれども、そんなことで先ほども申しますとおり、一日も早く補助の対象の決定をしていただこうと思っております。

次に、工事でございますけれども、下水道事業としては平成5年度から管工事を行いたいと思っております。そして、平成11年には供用開始ということで目標を掲げております。

以上でございます。

◎議長（福原 勤君） 神田守隆君。

◎21番（神田守隆君） 図面をもらっていますけれども、この図面でいきますと、そうすると今お話ですと、465の1ですか、この土地より南側といえますか、それは今回全部国の補助対象ということで決定を受けたけれども、

この 465 の 1、これが残っているという御説明じゃないかなというふうに理解するんですけれども、それでよろしいでしょうか。だとしますと、まだ全体の土地面積としては半分にもならないということで、平成 5 年度から工事ということで、11 年度供用開始ということになりますと、やはりこの土地の買収をめぐる問題が、国の補助金のつけ方の問題が非常にこの事業、実際に予定どおりに進められるのかどうかということの一番大きな問題なんじゃないかなと思うんですけれども、その辺の見通しが — 先ほどの話では、国に一生懸命働きかけて促進をしていきたいというお話だけだったんですけれども、もう少し具体的にこの辺の見込みなんかはお話がいただけないのか。

それと、今回の市の一般会計からの繰入金は、これは割合としては高いんだというお話だったんですけれども、ざっくりばらんに — そうするとじゃ今回 24 億ついたというお話でありますけれども、この 24 億のうち一般会計から繰り入れをしなければならないだろうというのはどれくらいの金額だというふうに踏んでいけばいいんでしょうか。

◎議長（福原 勤君） 建設部長。

◎建設部長（伊東 衛君） まず、前段の話でございますけれども、実はこの 20 億をついたものでございますけれども、県下では館山市だけでございます。それから、じゃ全国的にどうであるかということで一応国に問い合わせしましたところ、全体の事業費の 13.3% ということで、市とすれば全国の割合の 13% というのはいい数字ではないかというふうにとっております。それにはいろいろ事情があらうかと思えますけれども、そんなことでこれからもまだ残されたものが 30 億ばかりあるわけでございまして、これについても早急をお願いしていこうと思っております。

◎議長（福原 勤君） 総務部長。

◎総務部長（斉藤賢司君） 一般財源からの繰り出しについて御説明申し上げます。

補助額が 2 分の 1、それとあと臨時特例債としまして 10 分の 1 認められておりますので 10 分の 4、そのほかに市債が 85% 起債認められておりますので残り 15% 相当額、ですから 1 億円に対して約 600 万は自動的に一般財源から

出ていくという形になります。

それと、あともう一点は先ほど建設部長から説明ありましたように、契約日の — 先行取得しておりますので、その契約に係る利子相当額に対する市財源の持ち出しが若干加算されるという状況でございます。

◎議長（福原 勤君） 神田守隆君。

◎21番（神田守隆君） いろいろ計算はあるんでしょうけれども、このじゃ24億円というものに対して一般会計からの負担は幾らになるという、そういう計算は出ないんですか。今のお話だと、わずかしかなかからないようですけども、今回の4,400万、いわば3分の1に近い一般会計からの繰り出しがあるわけで、どうも今のお話と大分違うんじゃないかなという懸念を感じるものですから、そうすると24億全体としてはどれくらいの負担というふうな腹づもりで考えておけるのか、その1点だけお聞かせいただければと思います。

◎議長（福原 勤君） 建設部長。

◎建設部長（伊東 衛君） 雑ばくな答弁でございますけれども、全体を100といたしますと、77が国あるいは起債等で来る金額でございます。ですから、市とすれば23%は持ち出しということになります、用地について。ただし、これについてはまだ補助金の対象になっておりませんので、そこがどのようにになりますか。補助が早ければその分だけ利子が安くなるということでございます。ですから一刻も早く補助対象にしてもらわないといけな。補助対象にしますと、それについても、— 利子についても補助の対象になりますので、今数字が幾らということはちょっと言いかねるわけでございます。

以上でございます。

◎議長（福原 勤君） 他に御質疑ありませんか。— 御質疑なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

#### 委員会付託の省略

◎議長（福原 勤君） お諮りいたします。

各議案については委員会の付託を省略いたしたいと思います。これに御異

議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、委員会の付託は省略することに決しました。

#### 討 論

◎議長(福原 勤君) これより一括して討論を行います。

討論はありませんか。— 討論なしと認めます。よって、討論を終結いたします。

#### 採 決

◎議長(福原 勤君) これより採決いたします。

採決は一括して行います。各議案を原案どおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

◎議長(福原 勤君) 御異議なしと認めます。よって、各議案はいずれも原案どおり可決されました。

暫時休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午前11時14分 再開

◎議長(福原 勤君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

#### 副議長の選挙

◎議長(福原 勤君) 日程第4、これより副議長の選挙を行います。

議場の閉鎖を命じます。

(議場閉鎖)

◎議長(福原 勤君) ただいまの出席議員数は26人であります。

投票用紙を配付いたします。

(投票用紙配付)

◎議長（福原 勤君） 投票用紙の配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

（投票箱点検）

◎議長（福原 勤君） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票を願います。

点呼を命じます。

（事務局長補佐氏名点呼、投票）

◎議長（福原 勤君） 投票漏れはありませんか。 — 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

（議場開鎖）

◎議長（福原 勤君） これより開票を行います。

会議規則第31条第2項の規定により、立会人に脇田安保君及び岩村勝弘君を指名いたします。よって、両君の立ち会いを願います。

（立会人登壇、開票）

◎議長（福原 勤君） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数26票、これは先ほどの出席議員数に符合しております。

そのうち有効投票25票、無効投票1票。

有効投票中、横溝 功君23票、鈴木順子君1票、神田守隆君1票、以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は7票であります。よって、横溝 功君が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました横溝 功君が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定による告知をいたします。

副議長のあいさつ



◎議長（福原 勤君） この際、副議長横溝 功君を紹介いたします。

（副議長横溝 功君登壇）

◎副議長（横溝 功君） このたび皆様方の温かい御推挙によりまして、副議長の栄を得まして、本当に心より光栄であり感激でございます。

私はこの光栄、感激をもとにして議長をよく補佐し、市政のために全力を振るって沿いたいと思います。どうぞ皆様方の温かい御支援をお願いする次第でございます。

簡単ではございますが、よろしく願いたします。（拍手）

閉 会 午前11時26分

◎議長（福原 勤君） 以上で本臨時会に付議されました案件は議了いたしました。

よって、これにて第1回市議会臨時会を閉会いたします。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 議案第48号乃至議案第50号
- 1 副議長の選挙

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

館山市議会議長 福 原 勤

館山市議会議員 植 木 馨

館山市議会議員 石 井 昌 治